

名古屋市病院局 平成23年度予算の概要

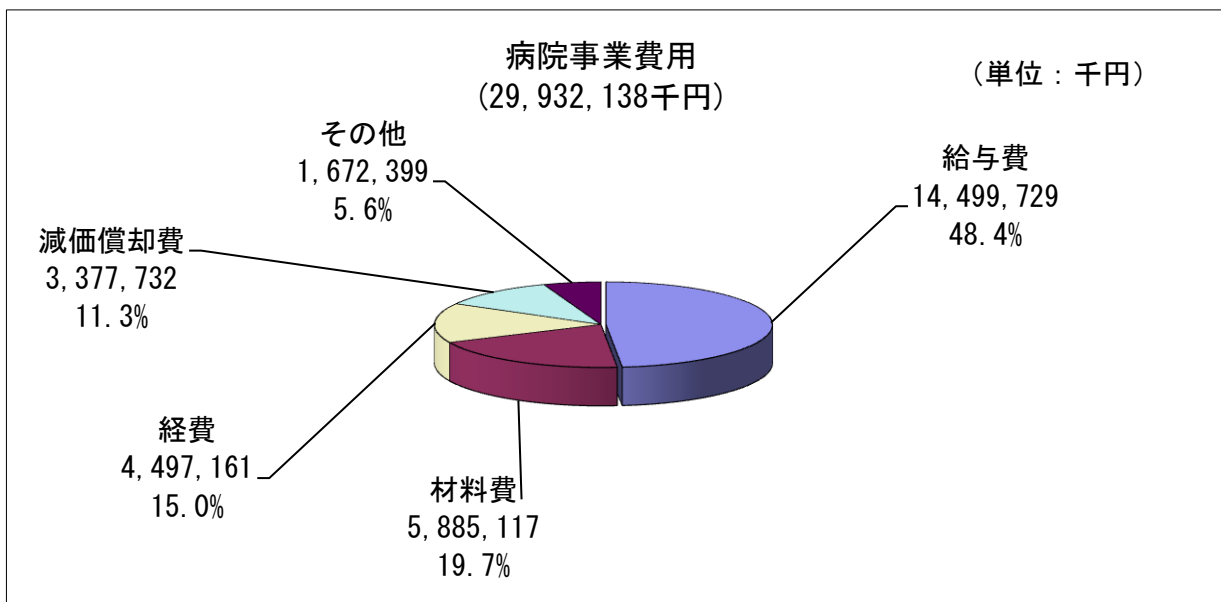
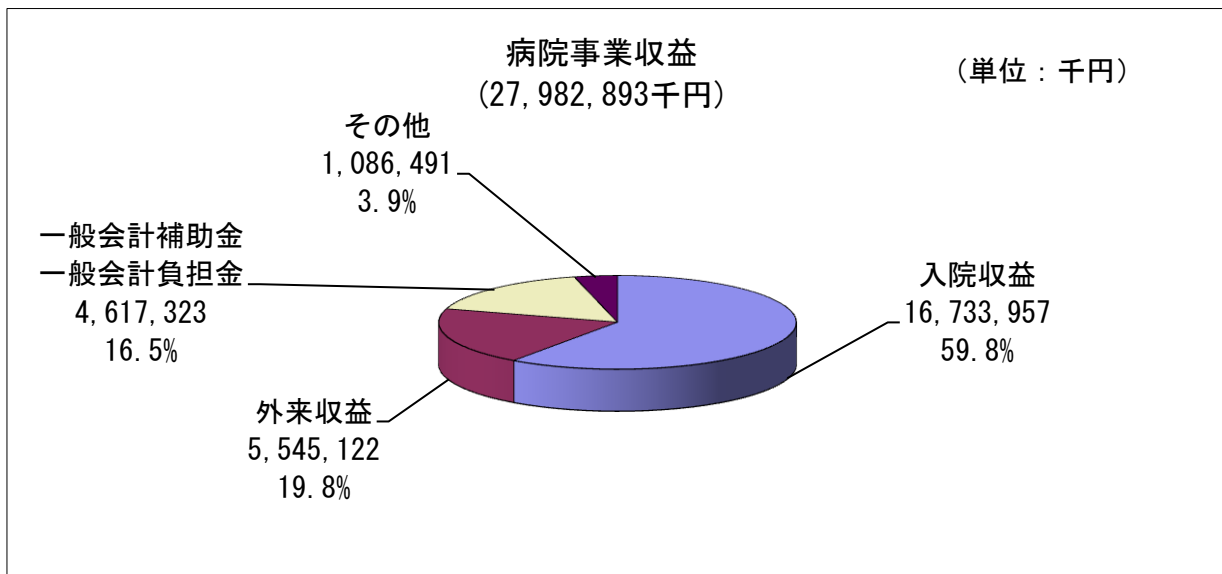
平成23年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を279億8289万円余と見込み、総事業費用を299億3213万円余と見込んでいます。市立病院としては、経営改善に努めているもの、経営環境は引き続き厳しい状況にあるため、19億4924万円余の赤字予算を編成しています。

今後は、「新名古屋市立病院改革プラン」に基づき、より一層の経営改善を進めるとともに、患者・医療サービスの向上、職員の意識改革を進めていきます。

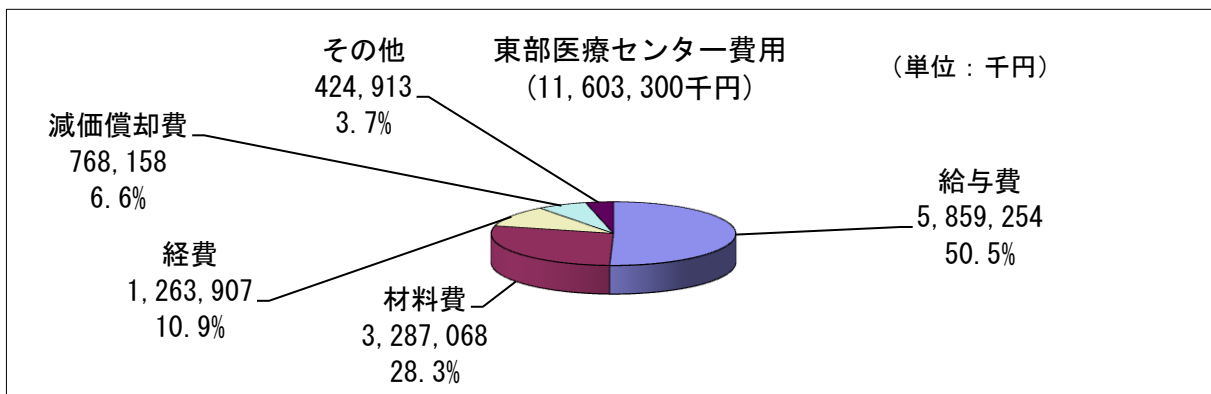
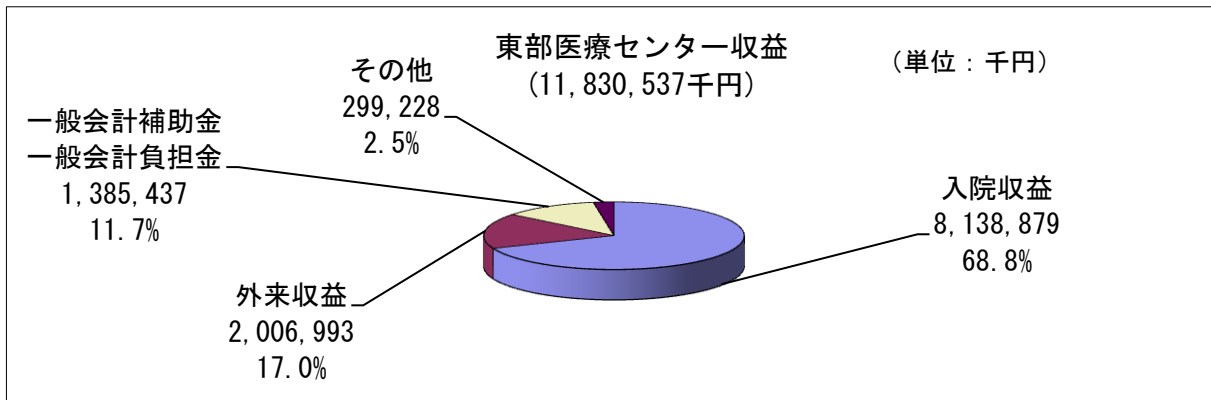
また、平成23年5月1日には「クオリティライフ21城北」において整備を進めてきた西部医療センターを開院します。西部医療センターでは、小児・周産期医療、消化器系がん重点を置いた悪性新生物（がん）医療等の特長ある医療を提供し、地域の中核的病院の役割を担います。

平成23年度の主な建設改良事業としては、東部医療センターにおいて365日24時間患者を受け入れる「断らない救急」の実現を目指し、救急・外来棟の整備に向けた実施設計を行います。この他には、東部医療センターにおける磁気共鳴断層診断装置等の購入、緑市民病院における指定管理者制度導入に向けた院内環境整備工事等を行います。

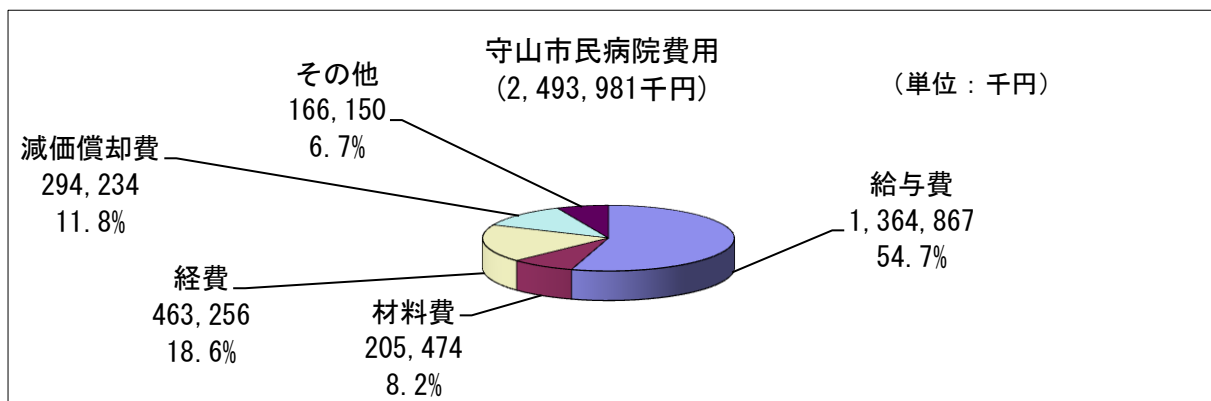
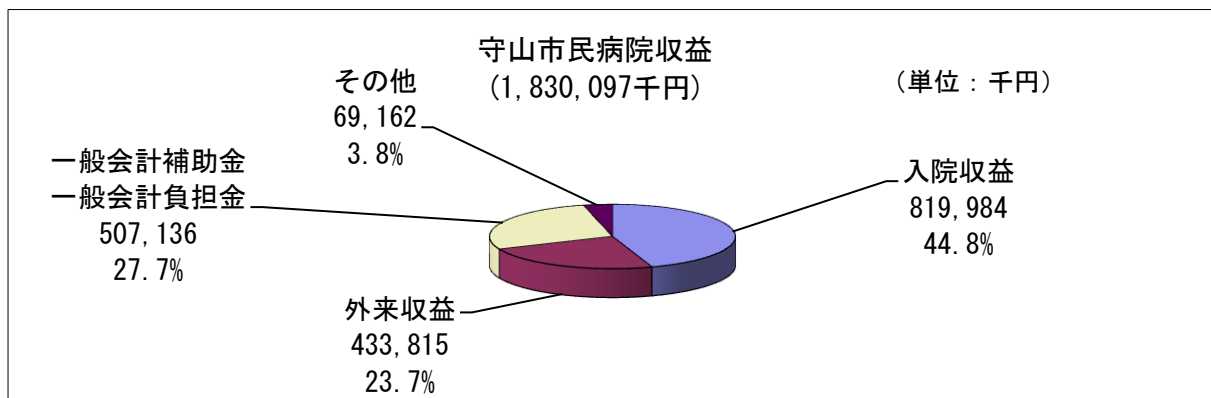
病院事業会計の収支



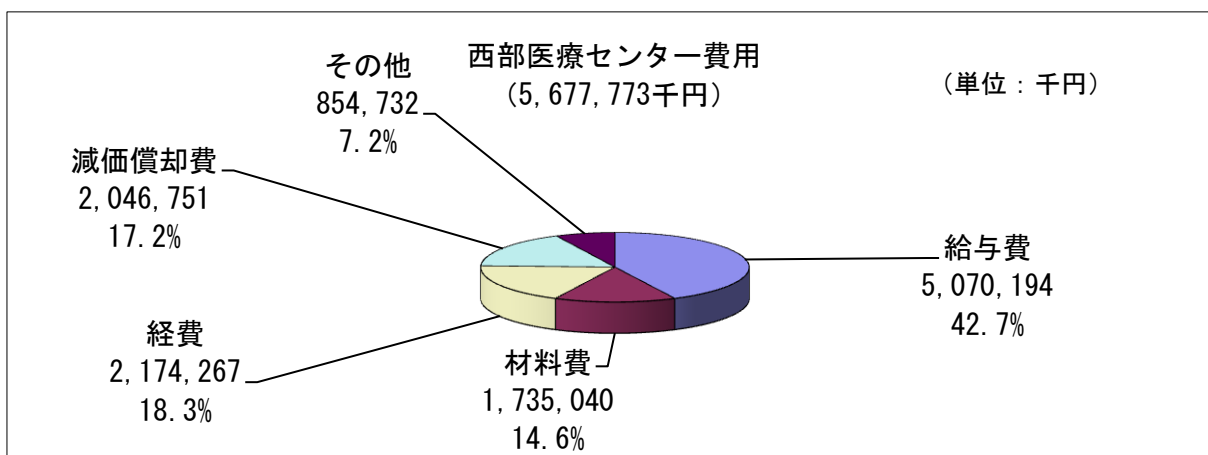
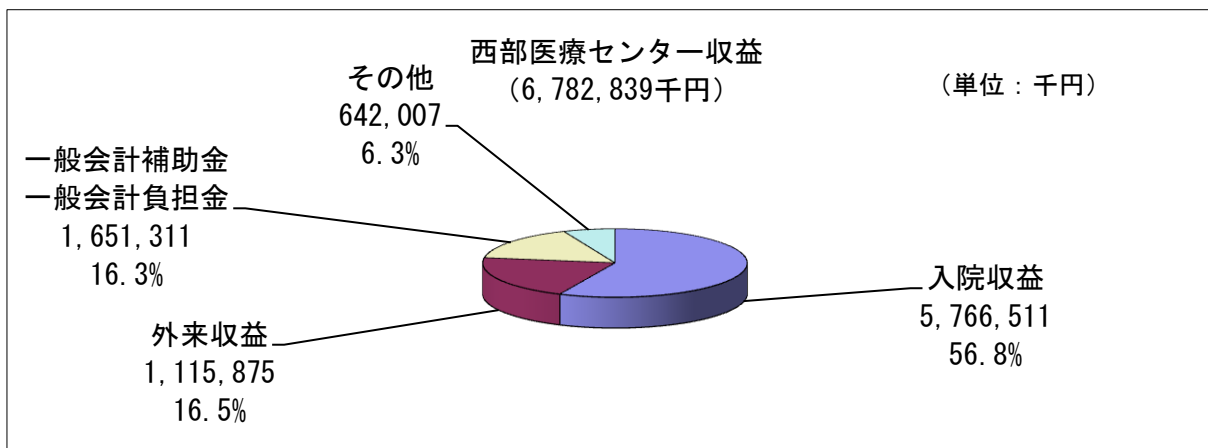
(1) 東部医療センター



(2) 守山市民病院



(3) 西部医療センター



(4) 緑市民病院

